別表1

令和４年度

第２次糸島市環境基本計画
進捗状況

○第２次糸島市環境基本計画の進捗状況集計表（令和４年度実績）

令和４年度の計画の進捗状況について、27の計画指標ごとに点検・評価を行いました。

■評価基準

Ａ　達成率80%以上

Ｂ　達成率60%以上80%未満

Ｃ　達成率40%以上60%未満

Ｄ　達成率20%以上40%未満

Ｅ　達成率20%未満

Ｆ　未着手（評価不可）

●目標の達成率

達成率＝ $\sqrt{(\text{R4年度実績}-\text{基準値(R1年度)})^2} / \sqrt{(\text{目標値(R7年度)}-\text{基準値(R1年度)})^2} \times 100$

※ただし、目標年度を上回る実績があった場合、達成率は100%、
基準年度を下回る実績だった場合、達成率は0%とする。

●実施の有無等が基準となる目標の達成率

実施有⇒達成率100%　実施無⇒達成率0%

※目標が「開催有無」のような場合に限り、「有」は達成率100%、「無」は達成率0%として扱います。

【目標ごとの評価集計】

	計画指標数	A	B	C	D	E	F
１．地球環境にやさしい生活を実践する	6	1	1	0	1	3	0
２．豊かな自然を守り育てる	9	5	0	0	1	2	1
３．快適で住みやすい生活環境をつくる	9	5	0	0	0	4	0
４．協働で環境づくりに取り組む	3	1	0	1	0	1	0
合　　計	27	12	1	1	2	10	1
	100%	44.4%	3.7%	3.7%	7.4%	37.0%	3.7%

目標別の計画指標一覧

■目標1：地球にやさしい生活を実践する
（第2次糸島市地球温暖化対策実行計画　区域施策編・事務事業編）

1－1　再生可能エネルギーの普及推進

	計　画　指　標	所 管 課
1	住宅用太陽光発電買取件数	環境政策課
2	公共施設へのクリーンエネルギー及び省エネ設備導入施設数	公共施設管理課 環境政策課

1－2　低炭素型都市基盤の整備及び保全

	計　画　指　標	所 管 課
1	新規防犯灯のLED導入基数	危機管理課
2	糸島市内の二酸化炭素排出量	環境政策課
3	公共施設等の二酸化炭素排出量	公共施設管理課
4	バス利用者数	コミュニティ推進課

■目標2：豊かな自然を守り育てる（糸島市生物多様性地域戦略）

2－1　多様な自然環境の保全

	計　画　指　標	所 管 課
1	荒廃森林整備面積	水産林務課
2	広葉樹の森の整備面積	水産林務課
3	河川の平均BOD値	環境政策課
4	中山間地域等直接支払事業取り組み集落数	農業振興課

2－2　豊かな自然の再生

	計　画　指　標	所 管 課
1	汚水処理人口普及率	下水道課
2	森林の間伐面積	水産林務課
3	松林保全アダプト制度の登録団体数	水産林務課

2－3　生物多様性の保全

	計　画　指　標	所 管 課
1	環境情報サイト等に生物多様性に関する情報掲載数	環境政策課
2	市単独自然観察会開催の有無	環境政策課

■目標3：快適で住みやすい生活環境をつくる

3－1　地域美化の推進

	計　画　指　標	所 管 課
1	環境美化活動への参加者数	環境政策課
2	市の環境パトロールごみ回収量	環境政策課
3	不法投棄防止監視ネットワーク協力団体数	環境政策課
4	動物愛護に関する啓発記事の掲載	環境政策課
5	あき地管理に関する指導件数	環境政策課

3－2　生活環境の保全

	計　画　指　標	所 管 課
1	野焼きの苦情件数	環境政策課

3－3　循環型社会の形成

	計　画　指　標	所 管 課
1	クリーンセンターへのごみ搬入量	環境政策課
2	市民の1人1日当たりのごみの排出量	環境政策課
3	ごみの資源化率	環境政策課

■目標4：協働で環境づくりに取り組む

4－1　協働の仕組みづくり

	計　画　指　標	所 管 課
1	出前講座等の学習会参加者数	環境政策課

4－2　環境情報の共有

	計　画　指　標	所 管 課
1	環境情報サイトの新着情報数	環境政策課

4－3　人材の育成と活用

	計　画　指　標	所 管 課
1	環境ボランティアネットワーク加入団体数	環境政策課

第2次糸島市環境基本計画の進捗状況調査票

目標1：地球環境にやさしい生活を実践する
（第2次糸島市地球温暖化対策実行計画　区域施策編・事務事業編）

■施策の方針　1－1　再生可能エネルギーの普及推進

●評価の標語について
Ａ…達成率80%以上　　Ｂ…達成率60%以上80%未満
Ｃ…達成率40%以上60%未満　　Ｄ…達成率20%以上40%未満
Ｅ…達成率20%未満　　Ｆ…未着手（評価不可）
※達成の尺度が「有無」の場合、有は達成率100%、無は達成率0%とする。

No	計画指標	基準値（Ｒ元年度）	目標値（Ｒ７年度）	目標値の考え方	現　状	Ｒ４年度取組内容	Ｒ４年度実績	最終目標値（R7年度）に対する時点達成率	時点評価	今後の取り組み、方針等	所管課
1	住宅用太陽光発電買取件数	4,020件	4,900件	基準値より20%増	●令和２～４年度の３か年の事業として、家庭用太陽光発電設備及び家庭用燃料電池の設置に対し、創エネルギーのまち・いとしま推進補助金を交付した。 ●令和４年度から９年度までの事業として、環境省交付金を活用し、脱炭素推進重点対策加速化事業を開始。家庭用太陽光発電及び蓄電池の設置補助を開始した。	●令和４年度は創エネルギーのまち・いとしま推進補助金を85件交付した（太陽光85件、家庭用燃料電池０件） ●脱炭素推進重点対策加速化事業を開始し、令和４年度は５件（太陽光、蓄電池ともに５件）補助金を交付した。 ●これらの取り組みを含めて、市内で太陽光が270件増加した。	4,671件	74.0%	B	●環境省交付金を活用した脱炭素推進重点対策加速化事業を令和９年度まで実施する。１件でも多くの申請につながるよう周知活動を創意工夫する。 ●創エネルギーのまち・いとしま推進事業は、既設太陽光の自家消費・地産地消を促進するため、蓄電池単体補助にリニューアルして実施。また、CO2削減を加速させるため、今後の補助対象の拡充を検討する。	環境政策課
2	公共施設へのクリーンエネルギー及び省エネ設備導入施設数	36施設	46施設	基準値より10件増	●公共施設への太陽光発電設備や高効率照明設備(LED照明)の導入を順次実施している。 ●建築年が古く太陽光発電の設置が困難な公共施設や、平成30年度に太陽光設置可能性調査を行っていない施設について、検討が必要である。	●前原南CC、加布里CCに新たに太陽光発電を設置 ●伊都郷土美術館にLED照明を設置する予定であったが、施設改修工事計画等との調整により令和６年度設置に延長した。	40施設	40.0%	C	●経産省補助金や環境省交付金を活用し、太陽光発電やLED照明等の導入を継続的に実施する。 ●平成30年度の太陽光設置可能性調査を行っていない施設について、あらためて調査の実施を検討する。 ●令和５年度は、建設中の新庁舎に太陽光発電及び井水熱空調設備、LED照明を、その他の公共施設に太陽光発電を設置予定。	公共施設管理課 環境政策課

未着手は「未」を入力

第2次糸島市環境基本計画の進捗状況調査票

目標１：地球環境にやさしい生活を実践する
（第2次糸島市地球温暖化対策実行計画　区域施策編・事務事業編）

■施策の方針　１－２　低炭素型都市基盤の整備及び保全

●評価の標語について
Ａ…達成率80%以上　　Ｂ…達成率60%以上80%未満
Ｃ…達成率40%以上60%未満　　Ｄ…達成率20%以上40%未満
Ｅ…達成率20%未満　　Ｆ…未着手（評価不可）
※達成の尺度が「有無」の場合、有は達成率100%、無は達成率0%とする。

No	計画指標	基準値（Ｒ元年度）	目標値（Ｒ７年度）	目標値の考え方	現　状	Ｒ４年度取組内容	Ｒ４年度実績	最終目標値（R7年度）に対する時点達成率	時点評価	今後の取り組み、方針等	所管課
1	新規防犯灯のLED導入基数	110基	550基	毎年110基増	●新規設置・寄附により防犯灯を設置している。	●86基の新規防犯灯を設置した。 ●実施計画事業（LED転換事業）、修繕まで含めると、令和４年度は242基の防犯灯についてLED化を行った。	182基	16.4%	E	●地域の安全安心の向上、犯罪抑止とともに、二酸化炭素排出削減を目的として、今後も新規防犯灯はLEDを導入していく。	危機管理課
2	糸島市内の二酸化炭素排出量	546千㌧ (H29年度)	504千㌧	毎年1.5%減	●地球温暖化対策に関する広報やホームページへの記事掲載、イベントでの啓発活動を行っている。 ●太陽光発電導入を促進し、二酸化炭素排出削減を進めるため、国の交付金や市の再生可能エネルギー推進基金を活用した補助事業を実施している。	●市民まつり会場で啓発イベントを実施したが、広報での啓発はできなかった。 ●包括連携協定を締結している九州電力と連携し、次世代への環境教育を強化する目的で、糸島市出前講座に九電連携メニューを追加した（募集は令和５年度から）。 ●太陽光発電等の補助事業を実施（90件）。公共施設へ太陽光発電を設置した。 ●前年度から二酸化炭素排出量が３％増加した。新型コロナウイルス対策として在宅時間が多くなったことから家庭の電気使用量が増えたこと、市内製造業の出荷額増加等の影響が考えられる。 ※環境省「自治体排出量カルテ」の最新データが令和２年度であるため、その数値により評価しました。	467千㌧ (R2年度)	100.0%	A	●今後も、市民・事業者に脱炭素の必要性を訴求するため、啓発活動を強化する。同時に、ハード面では再エネ・省エネ機器、電動車の普及を促進する。 ●糸島市出前講座の九電連携メニューの周知を図り、利用促進を図る。	環境政策課
3	公共施設等の二酸化炭素排出量	14,647㌧	13,900㌧	基準値より5%減	●二酸化炭素排出量は、基準値と比較して約1%減少、前年度と比較して約5%減少した。	●共通行動計画に基づき、全ての公共施設の冷暖房の温度管理を徹底し、経費の削減と地球温暖化の原因となっている二酸化炭素の排出量の削減に努めた。	14,571㌧	10.2%	E	●再生可能エネルギー導入計画に基づき、公共施設への再生可能エネルギー設備の導入促進を図り、二酸化炭素の排出量の抑制を図る。	公共施設管理課
4	バス利用者数	435,721人	470,000人	基準値より8%増	●新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、当初目標設定時よりも大幅に利用者が減少しているものの、令和４年度は、令和元年度の89%程度まで回復してきた。	●令和４年10月より、定時定路線バス市街地循環線の廃止、井原山線の改善としてオンデマンドバスの運行エリア拡大により、効率的な運行と利便性向上を実施している。	389,081人	0.0%	E	●オンデマンドバスの運行エリアの拡大や路線の見直し等により、利用者の回復を図る。	コミュニティ推進課

未着手は「未」を入力

第2次糸島市環境基本計画の進捗状況調査票

目標2：豊かな自然を守り育てる
（糸島市生物多様性地域戦略）

■施策の方針　2－1　多様な自然環境の保全

●評価の標語について
Ａ…達成率80%以上　　Ｂ…達成率60%以上80%未満
Ｃ…達成率40%以上60%未満　Ｄ…達成率20%以上40%未満
Ｅ…達成率20%未満　　Ｆ…未着手（評価不可）
※達成の尺度が「有無」の場合、有は達成率100%、無は達成率0%とする。

No	計画指標	基準値（Ｒ元年度）	目標値（Ｒ７年度）	目標値の考え方	現　状	Ｒ４年度取組内容	Ｒ４年度実績	最終目標値（R7年度）に対する時点達成率	時点評価	今後の取り組み、方針等	所管課
1	荒廃森林整備面積	1,792ha	2,192ha	毎年80ha増	●木材価格の長期低迷により林業経営の採算性が悪化し、森林所有者の林業に対する関心は低下しており、林業の担い手の減少や高齢化により、間伐等の森林整備が遅れている。福岡県の森林環境税を活用しながら、順次、荒廃した森林の整備を実施し、健全な森林づくりを進めている。	●福岡県の森林環境税を活用した間伐等、59.24haの森林整備を実施した。	1,942ha	37.6%	D	●森林環境税を活用しながら、水源涵養機能や土砂災害防止等の森林の持つ多面的機能を発揮させるため、荒廃森林の整備を進めていく。 ●現在、糸島型森林再生プロジェクトを立ち上げ、森林施業のサイクルの復活のために、森林保全の担い手育成、糸島産材の活用促進について取り組んでいる。 ●間伐材等の貯木場「伊都山燦」の活用により、間伐材の利用を促進する。	水産林務課
2	広葉樹の森の整備面積	62,380㎡	66,380㎡	毎年800㎡増	●竹が隣接した森林に侵入・拡大し、荒廃している森林や樹木が枯死している森林等、森林としての公益的機能が低下しており、放置すれば公益的機能が損なわれるおそれがある箇所において広葉樹を植栽し、森林の再生を進めている。	●真名子木の香ランド周辺において植樹祭を開催（新型コロナ感染防止対策の為、小規模開催）実施した。（700㎡）	72,880㎡	100.0%	A	●水源涵養機能や土砂災害防止等の森林の持つ公益的機能の向上のため、毎年植樹祭や瑞梅寺ダム上流部の竹転等を行い広葉樹の森の整備を進める。	水産林務課
3	河川の平均BOD値	0.94mg/ℓ	2.0mg/ℓ以下	2.0mg/ℓ以下維持	●公共下水道や農業集落排水の整備、合併処理浄化槽の普及により、変動はあるものの徐々に水質は改善している。 ●令和４年度の結果は目標値である2.0mg/ℓを満足した。 ●数値が悪化した地点もあった。	●河川調査地点54箇所で、環境基準の生活環境項目であるBOD値の検査を実施した。	1.55mg/ℓ	100.0%	A	●快適な生活環境を確保するため、今後も継続して監視を行う。 ●顕著な水質悪化が継続して見られる場合は、原因調査や対応について管理者と対応を検討する。	環境政策課
4	中山間地域等直接支払事業取り組み集落数	18集落	19集落	19集落維持	●19集落・487人により、市内約225haの農地（田畑）の保全がなされている。	●集落共同活動により、水路や農地周辺の草刈り、景観作物の作付、農道改修、水路改修、法面の点検・補修等を実施した。	19集落	100.0%	A	●今後も、中山間地域における農地の適正維持活動により、耕作放棄地の再生と発生の予防、多面的機能の維持などを継続して行う。	農業振興課

未着手は「未」を入力

第2次糸島市環境基本計画の進捗状況調査票

目標2：豊かな自然を守り育てる
（糸島市生物多様性地域戦略）

■施策の方針　2－2　豊かな自然の再生

●評価の標語について
Ａ…達成率80%以上　　Ｂ…達成率60%以上80%未満
Ｃ…達成率40%以上60%未満　Ｄ…達成率20%以上40%未満
Ｅ…達成率20%未満　　Ｆ…未着手（評価不可）
※達成の尺度が「有無」の場合、有は達成率100%、無は達成率0%とする。

No	計画指標	基準値（Ｒ元年度）	目標値（Ｒ７年度）	目標値の考え方	現　状	Ｒ４年度取組内容	Ｒ４年度実績	最終目標値（R7年度）に対する時点達成率	時点評価	今後の取り組み、方針等	所管課
1	汚水処理人口普及率	90.4%	91.7%	R3実績値から毎年0.1%増	●公共下水道事業による汚水管整備、合併処理浄化槽設置整備事業による合併処理浄化槽の設置に対する補助を実施し、汚水処理人口普及率の向上を図っている。	●公共下水道事業による汚水管整備及び合併処理浄化槽設置整備事業による合併処理浄化槽の設置補助により、汚水処理人口普及率の向上を図った。	91.5%	84.6%	A	●今後も都市基盤の充実、快適な農山村生活の充実、河川やため池等の水環境保全のため、計画的に事業を推進していく。	下水道課
2	森林の間伐面積	990ha	1,840ha	毎年170ha増	●糸島型森林再生プロジェクトにより、市の林業振興補助金等で補助しながら、間伐などの森林整備を行っている。 ●糸島型森林再生プロジェクト事業として、間伐材等搬出補助金制度を利用し、間伐材等の未利用材の利用促進を図っている。 ●森林組合に対して、間伐材の収集運搬用機械（グラップル・フォワーダ）の購入補助を行い、作業効率の軽減や危険防止などを図っている。 ●森林環境譲与税基金運営事業により、市有林の間伐等の森林整備を行っている。	●市の林業振興補助金等（水源保全基金運営事業及び森林整備事業）による間伐により、6.82haの森林整備を進めた。 ●森林環境譲与税基金運営事業により、間伐2.0haの森林整備を進めた。	1,034ha	5.2%	E	●間伐作業は、国・県の補助事業を活用し、水源涵養機能の保全、土砂災害防止等の多面的機能向上のために取り組みを進めていく。 ●間伐材等搬出補助金制度や貯木場「伊都山燦」を活用しながら、自ら保有する山を自ら管理する「自伐林家」の育成にも努めていく。 ●森林環境譲与税を活用し、市有林等の民有林において、間伐等による森林整備を進めていく。	水産林務課
3	松林保全アダプト制度の登録団体数	14団体	20団体	毎年1団体増	●松枯れの被害が平成22年から増加し、平成24年には甚大な被害となり、松林の保全のため、薬剤の散布や駆除を継続して実施している。 ●松林保全のためアダプト制度による松林の清掃・美化活動を推進し、白砂青松の再生に取り組んでいる。	●アダプト登録団体により、福井ノ浜、幣ノ浜及び野北浜で、61,300㎡の松林の清掃・美化活動を実施された。	14団体	0.0%	E	●地域の活動団体、学校及び大手企業などにアプローチし、登録団体数を増加させ松林の保全区域に取り組むことにより、松林の持つ公益的機能の回復に努める。	水産林務課

未着手は「未」を入力

第2次糸島市環境基本計画の進捗状況調査票

目標2：豊かな自然を守り育てる
（糸島市生物多様性地域戦略）

■施策の方針　2－3　生物多様性の保全

●評価の標語について
Ａ…達成率80%以上　　Ｂ…達成率60%以上80%未満
Ｃ…達成率40%以上60%未満　Ｄ…達成率20%以上40%未満
Ｅ…達成率20%未満　　Ｆ…未着手（評価不可）
※達成の尺度が「有無」の場合、有は達成率100%、無は達成率0%とする。

No	計画指標	基準値（Ｒ元年度）	目標値（Ｒ７年度）	目標値の考え方	現　状	Ｒ４年度取組内容	Ｒ４年度実績	最終目標値（R7年度）に対する時点達成率	時点評価	今後の取り組み、方針等	所管課
1	環境情報サイト等に生物多様性に関する情報掲載数	年間0件	年間3件	基準値より3件増	●特定外来生物等の分布拡大や地球温暖化等の影響により、市内の自然環境の悪化等が懸念される。 ●生物多様性に関する啓発活動を行い、環境への意識改革を促す必要がある。	●広報に記事を４回掲載した。 ●市ホームページへ生物多様性に関する内容を２件追加、３件更新。	年間9件	100.0%	A	●今後も生物多様性に関する内容について、広報での定期記事掲載及びホームページによる情報発信を行っていく。	環境政策課
2	市単独自然観察会開催の有無	開催無し	開催有り	開催の有無	●特定外来生物等の分布拡大や地球温暖化等の影響により、市内の自然環境の悪化等が懸念される。 ●生物多様性に関する啓発活動を行い、環境への意識改革を促す必要がある。 ●自然環境に対する市民の興味・関心を引き出していくことが求められる。	●市単独の自然観察会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した。	未	0.0%	F	●感染症対策等を講じながら自然観察会を開催できるよう検討し、市民の自然環境に対する興味・関心を引き出せる事業を行う。	環境政策課

未着手は「未」を入力

第2次糸島市環境基本計画の進捗状況調査票

目標3：快適で住みやすい生活環境をつくる

●評価の標語について
Ａ…達成率80%以上　　Ｂ…達成率60%以上80%未満
Ｃ…達成率40%以上60%未満　Ｄ…達成率20%以上40%未満
Ｅ…達成率20%未満　　Ｆ…未着手（評価不可）
※達成の尺度が「有無」の場合、有は達成率100%、無は達成率0%とする。

■施策の方針　３－１　環境美化の推進

No	計画指標	基準値（Ｒ元年度）	目標値（Ｒ７年度）	目標値の考え方	現　状	Ｒ４年度取組内容	Ｒ４年度実績	最終目標値（R7年度）に対する時点達成率	時点評価	今後の取り組み、方針等	所管課
1	環境美化活動への参加者数	46,853人	48,000人	基準値より2.5%増	●市民の生活環境の向上を図るため、地域の環境美化活動を推進している。 ●行政区を通じて市民へ周知し、各行政区や隣組単位で地域の清掃活動が実施されている。 ●行政区だけでなく、個人や団体による市内の清掃活動が年間を通して行われている。	●新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着いたことにより、前年度より増加した。 ●参加者数 春季：20,905人、秋季：22,766人 （対前年度比25,550人の増加）	43,671人	0.0%	E	●環境美化活動は、身近な生活環境が保全されることや地域のコミュニティの向上にもつながる等、様々な効果があるため、今後も継続する必要がある。 ●参加者不足や高齢化により作業範囲が限られる地域もあるため、できる範囲の作業で協力いただきたい。 ●対応できない水路等は、市へ相談していただき、担当課の判断のもと対応していくこととする。	環境政策課
2	市の環境パトロールごみ回収量	125㌧	120㌧	毎年1㌧減	●不法投棄の通報による回収だけでなく、地域や団体、個人等の環境美化活動により、ポイ捨てゴミや地域の草刈りで出た草等の回収、海岸漂着物の回収を実施している。	●(公社)糸島市シルバー人材センターと(社福)香月福祉会MUKAに不法投棄防止監視パトロール業務を委託。海岸漂着物や不法投棄物、環境美化活動でのゴミ等を回収した。 ●不法投棄が頻発する行政区等でチラシを作成し、回覧を行った。 ●主な不法投棄物の回収件数 テレビ：10台　冷蔵庫：６台 自転車：８台　タイヤ：138本	115㌧	100.0%	A	●不法投棄が後を絶たず、年々増加傾向にある。年間を通した環境パトロールと合わせ、市民や事業者、地域、不法投棄監視ネットワーク等との協働により不法投棄監視を継続する。 ●今後も広報やホームページを活用しながら、不法投棄防止の啓発を行っていく。	環境政策課
3	不法投棄防止監視ネットワーク協力団体数	24団体	30団体	基準値より6団体増	●広報やホームページを活用し、協力団体を募集している。 ●地域の実情に詳しい行政区長にも、不法投棄を発見した際に通報をお願いしている。 ●依然として不法投棄が多い状況である。	●広報やホームページで協力事業者を募集した。 ●協力団体事業所に、登録事項の変更の有無・協定内容の確認等を行い、ネットワークの強化を図った。 ●不法投棄監視のネットワーク拡充のため、ボランティア団体や行政区の希望者に不法投棄監視ステッカーを配布した。	24団体	0.0%	E	●今後も協力団体を拡大させるため、広報やホームページでの周知、商工会や各種団体への訪問等で募集活動を行っていく。	環境政策課
4	動物愛護に関する啓発記事の掲載	年間2回	年間3回	基準値より1回増	●愛護動物（犬・猫等）に対する苦情・相談が年間を通して後を絶たず、特に近年は猫に対する苦情・相談が増加している。 ●飼い主の適正な飼養の啓発が必要である。	●広報に飼い主の適正飼養啓発記事を４回掲載。 ●飼い主のマナーアップキャンペーンを２回実施し、動物の適正飼養について啓発を行った。	年間4回	100.0%	A	●今後も福岡県糸島保健福祉事務所と連携しながら広報、ホームページで情報発信を行っていく。	環境政策課
5	あき地管理に関する指導件数	278件	220件	基準値より20%減	●近隣住民からの相談が６月から10月頃を中心に多く寄せられている。 ●市からの指導がなければ雑草の除去を行わない等、土地の管理について受動的な所有者が多く課題である。 ●複数回指導しても対応しない土地所有者もいる。 ●所有者に文書が届かない等、市では対応が不能となった案件もある。	●あき地条例該当124件、市民相談該当89件。 ●過去に指導歴のある土地の所有者等101名に対し、雑草除去依頼文書を５月に一斉送付した。 ●個別の相談に基づき、土地の所有者等に対して雑草除去等を指導する文書を送付した。 ●複数回の相談者には無料法律相談を案内した。	213件	100.0%	A	●土地の所有者等に対し、定期的な雑草除去と併せて自主的な土地の適正管理を促していく。 ●相談があった土地については、随時指導等を継続して行う。	環境政策課

未着手は「未」を入力

第2次糸島市環境基本計画の進捗状況調査票

目標3：快適で住みやすい生活環境をつくる

●評価の標語について
Ａ…達成率80%以上　　Ｂ…達成率60%以上80%未満
Ｃ…達成率40%以上60%未満　Ｄ…達成率20%以上40%未満
Ｅ…達成率20%未満　　Ｆ…未着手（評価不可）
※達成の尺度が「有無」の場合、有は達成率100%、無は達成率0%とする。

■施策の方針　３－２　生活環境の保全

No	計画指標	基準値（Ｒ元年度）	目標値（Ｒ７年度）	目標値の考え方	現　状	Ｒ４年度取組内容	Ｒ４年度実績	最終目標値（R7年度）に対する時点達成率	時点評価	今後の取り組み、方針等	所管課
1	野焼きの苦情件数	35件	24件	基準値より30%減	●庭木の枝、雑草、家庭菜園で出た植物性の廃棄物等の焼却行為は、後を絶たない状況である。 ●令和４年度は例年より多く苦情が寄せられた。在宅ワーク等が増えたのも一因と考えられる。 ●住宅地域付近の田畑で、焼却禁止の例外とされる農業関連の廃棄物の焼却行為に関する苦情が多い。 ●農業を営むための焼却行為は、JA糸島や市の関係部署を通じて、周辺地域に配慮しながら焼却しもらうよう、お願いしている。	●野焼き禁止に関する記事を広報に掲載し、周知を図った。 ●個別の苦情に対しては、現地で指導した。 ●野焼きにより火災が発生した場合は、発生した地域において本課と消防署の連名でチラシを回覧し、再発防止に取り組んだ。 ●消防本部と協議を行い、今後の連携等について協議した。 ●悪質なケースや事業者による廃棄物焼却については、糸島警察署と福岡県筑紫保健福祉環境事務所等と連携し対応している。	46件	0.0%	E	●野焼きに関する市民の理解を深め、広報やホームページ、回覧チラシ等を活用して、引き続き市民に周知を行っていく。	環境政策課

第2次糸島市環境基本計画の進捗状況調査票

目標3：快適で住みやすい生活環境をつくる

●評価の標語について
Ａ…達成率80%以上　　Ｂ…達成率60%以上80%未満
Ｃ…達成率40%以上60%未満　Ｄ…達成率20%以上40%未満
Ｅ…達成率20%未満　　Ｆ…未着手（評価不可）
※達成の尺度が「有無」の場合、有は達成率100%、無は達成率0%とする。

■施策の方針　３－３　循環型社会の形成

No	計画指標	基準値（Ｒ元年度）	目標値（Ｒ７年度）	目標値の考え方	現　状	Ｒ４年度取組内容	Ｒ４年度実績	最終目標値（R7年度）に対する時点達成率	時点評価	今後の取り組み、方針等	所管課
1	クリーンセンターへのごみ搬入量	33,216ﾄﾝ	33,568ﾄﾝ	1人1日1%減×人口見込数	●家庭系ごみの搬入量は令和３年度の26,612ｔから令和４年度の26,044ｔと568ｔ減少した。 ●事業系ごみの搬入量は、令和３年度の4,818ｔから令和４年度の4,915ｔと97ｔ増加した。	●新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着いたこともあり、校区文化祭や市民祭り等でごみ減量の啓発を行うことができた。 ●市外で発生したごみの搬入を防ぐため、搬入時にごみ発生場所及び本人確認を実施している。	32,374ﾄﾝ	100.0%	A	●各種イベントを実施することで、ごみ減量の啓発を行っていく。 ●ごみ減量化について、広報やホームページで周知や啓発を行っていく。	環境政策課
2	市民の１人１日当たりのごみの排出量	937.0g	928.0g	基準値より1%減	●「有価資源回収活動奨励補助金」「資源集積倉庫等設置補助金」による紙の資源化及び「ごみ減量化器材購入補助金」による生ごみの減量を推進している。	●有価資源回収活動奨励補助金 885,883kg　3,543,532円	890.0g	100.0%	A	●紙類、特に「雑紙」の資源化について推進する。	環境政策課
3	ごみの資源化率	25.1%	26.0%	基準値より1%増	●リサイクルセンターにおける不燃ごみの資源化、市民による有価資源回収活動及び牛乳パック・食品トレイ回収等の資源化に取り組んでいる。	●対前年度比1.8%の減。 ●クリーンセンター資源化量 …6,832トン ●資源（集団）回収量 …935トン	24.0%	0.0%	E	●今後も、ごみ分別の徹底と資源回収拠点を窓口やホームページ等で市民に知らせていく。 ●携帯電話、インクカートリッジ、小型充電式電池など再資源化できるものについて回収ボックスを設置している。資源化に向けて市民に啓発を行っていく。	環境政策課

未着手は「未」を入力

第2次糸島市環境基本計画の進捗状況調査票

目標4：協働で環境づくりに取り組む

●評価の標語について
Ａ…達成率80%以上　　Ｂ…達成率60%以上80%未満
Ｃ…達成率40%以上60%未満　Ｄ…達成率20%以上40%未満
Ｅ…達成率20%未満　　Ｆ…未着手（評価不可）
※達成の尺度が「有無」の場合、有は達成率100%、無は達成率0%とする。

■施策の方針　４－１　協働の仕組みづくり

No	計画指標	基準値（Ｒ元年度）	目標値（Ｒ７年度）	目標値の考え方	現　状	Ｒ４年度取組内容	Ｒ４年度実績	最終目標値（R7年度）に対する時点達成率	時点評価	今後の取り組み、方針等	所管課
1	出前講座等の学習会参加者数	2,404人	2,654人	毎年2%増	●ごみ減量やリサイクルの推進等について、市民の知識や理解を深めることができる。 ●出前講座や市民まつり、校区文化祭、クリーンセンターの見学等により、ごみ減量やリサイクルの推進に関する啓発を図っている。	●新型コロナウイルスの感染状況をみながら、出前講座やイベントによりごみの減量に対する啓発を実施した。また、ごみの減量化や資源化の啓発を目的とした、クリーンセンターの施設見学の受け入れを実施した。	1,435人	0.0%	E	●今後も積極的にイベントや施設見学の受け入れを行っていく。	環境政策課

未着手は「未」を入力

第2次糸島市環境基本計画の進捗状況調査票

目標4：協働で環境づくりに取り組む

●評価の標語について
Ａ…達成率80%以上　　Ｂ…達成率60%以上80%未満
Ｃ…達成率40%以上60%未満　Ｄ…達成率20%以上40%未満
Ｅ…達成率20%未満　　Ｆ…未着手（評価不可）
※達成の尺度が「有無」の場合、有は達成率100%、無は達成率0%とする。

■施策の方針　４－２　環境情報の共有

No	計画指標	基準値（Ｒ元年度）	目標値（Ｒ７年度）	目標値の考え方	現　状	Ｒ４年度取組内容	Ｒ４年度実績	最終目標値（R7年度）に対する時点達成率	時点評価	今後の取り組み、方針等	所管課
1	環境情報サイトの新着情報数	12件	15件	基準値より3件増	●市民の環境に対する意識を向上させるきっかけとするため、環境に関する情報をホームページに掲載している。	●環境に関する市の取り組み状況や啓発、イベント等の情報を掲載した。	23件	100.0%	A	●目標値を達成したが、今後も市の取り組みやイベント等の情報を、より多く掲載できるよう継続して取り組んでいく。	環境政策課

未着手は「未」を入力

第2次糸島市環境基本計画の進捗状況調査票

目標4：協働で環境づくりに取り組む

●評価の標語について
Ａ…達成率80%以上　　Ｂ…達成率60%以上80%未満
Ｃ…達成率40%以上60%未満　Ｄ…達成率20%以上40%未満
Ｅ…達成率20%未満　　Ｆ…未着手（評価不可）
※達成の尺度が「有無」の場合、有は達成率100%、無は達成率0%とする。

■施策の方針　４－３　人材の育成と活用

No	計画指標	基準値（Ｒ元年度）	目標値（Ｒ７年度）	目標値の考え方	現　状	Ｒ４年度取組内容	Ｒ４年度実績	最終目標値（R7年度）に対する時点達成率	時点評価	今後の取り組み、方針等	所管課
1	環境ボランティアネットワーク加入団体数	17団体	22団体	基準値より5団体増	●環境ボランティアネットワークの加入団体を拡大するため、広報等で周知している。 ●環境ボランティア活動に関する情報交換会を年１回程度実施している。 ●登録団体を支援する事業として、活動物資の支給を実施している。	●登録団体数は19団体を維持。 ●新型コロナウイルス感染拡大防止のため情報交換会を中止し、書面による各団体の情報提供を行った。 ●登録団体のうち５団体に対し、物品等を支給した。 ●加入団体拡大のため、広報・ホームページで募集を行った。	19団体	40.0%	C	●団体数は徐々に増加しているが、一方で散乱ごみ・不法投棄・海岸漂着ゴミは減少しているものの、未だに不法投棄の現状がある。 ●今後も、市民と行政による協働を継続する必要がある。登録団体数のより一層の増加をめざす。	環境政策課

未着手は「未」を入力